

全建発第16～212号
平成16年10月4日

(機関管理者) 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道雄



第494回建設技術講習会（活力と魅力ある地域づくり）開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、公団・公社等に勤務する建設関係職員9万名をもって構成され、公共事業の担い手である建設技術者の「技術水準の向上」等を図り、建設事業の合理化とその進歩発展をめざす公益法人であります。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められております。

このたびの第494回建設技術講習会では、活力と魅力ある地域づくりに向け、地域間の交流と連携、地域住民・NPO等の参画の充実、都市再生、魅力ある観光交流空間づくり等について、地域の関係者による報告や討議を通じ、街づくり、地域づくりの様々な施策のあり方を学ぶことを目的としております。本講習は公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

敬 具



全建発第15～271号
平成15年12月19日

社団法人 全日本建設技術協会

研修委員長 北 橋 建 治

(国土交通省大臣官房技術調査課長)



平成16年度の講習会参加について（お願い）

本会の建設技術講習会及び実地研修会については、お蔭をもちまして毎回多数の参加をいただいております、厚く御礼を申し上げます。

さて、今日、私たちを取り巻く社会環境が大きく変貌する中で、公共事業の効果や効率性、事業の進め方、整備水準や質的向上、技術開発、社会資本ストックの活用など、多くの重要な課題をかかえております。

これらに対処するためには、職員の一層の技術力や調整能力の向上が求められます。例えば、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」においても、国、特殊法人等及び地方公共団体は、「職員に対し、公共工事の入札及び契約が適正に行われるよう、関係法令及び施工技術に関する知識を習得させるための教育及び研修その他必要な措置を講ずるよう努めなければならない」とされており、「職員研修」の果たすべき役割は従来にも増して一層重要になっていると考えております。

本会では、このような認識にたち、平成16年度の建設技術講習会・実地研修会及び海外研修計画について、別紙のとおり決定し、実施することとなりました。

以上の趣旨を御理解のうえ、職員研修の場として活用されますよう特段の御配慮をお願い申し上げます。

また、本会講習会に参加できない職員の方々に対して、例えば、参加の職員から講習内容を伝達するような場を設けるなど、多くの職員の技術力等向上のための取り組みについて御配慮いただければ幸いです。

なお、本会講習会の参加にご理解をいただくため、貴機関管理者あて会長名の文書を同封しましたので、貴職からご説明をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

地方協会長 殿

社団法人 全日本建設技術協会
会 長 鈴木 道 雄



第494回建設技術講習会（活力と魅力ある地域づくり）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成16年11月30日（火）～12月1日（木）、石川県（金沢市）において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、「活力と魅力ある地域づくりに向け、地域間の交流と連携、地域住民・NPO等の参画の充実、都市再生、魅力ある観光交流空間づくり等について、地域の関係者による報告や討議を通じ、街づくり、地域づくりの様々な施策のあり方を学ぶ」ことを目的としています。

なお、本講習会は、国土交通省の後援のもと実施しています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴 講 料：正会員・特別会員・賛助会員 …………… 7,600 円〔うち昼食代1,600 円（2 日分）〕
非会員 …………… 12,600 円〔 “ ” 〕
（聴講のみ参加も可能です）

③現場研修料：…………… 6,900 円〔うち昼食代1,200 円〕
（現場研修のみの参加はできません）

④申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の（写）〕を添えて、期限までに下記全建事務局までお申し込み下さい。
当日の講習会場でのお支払い並びに追加申し込みは受け付けできません。

⑤申込書送付先：〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ランディック藤井ビル7F
（社）全日本建設技術協会 事業課 TEL 03(3585)4546 FAX 03(3586)6640

⑥振込銀行口座：東京三菱銀行赤坂見附支店 普通預金口座 No.0311142
口座名義：社団法人 全日本建設技術協会
お振込の際必ず、振込者の名義のはじめに、開催回数の「494」をつけ加えて下さい。

⑦申込締切日：**平成16年11月5日（金）必着**（お申込みが締切日以降に到着したものは受理できない場合があります。）

※取り消し・返金について
申込の取り消しについては、下記のように処理いたします。なお、返金は講習会終了後に、所属協会指定口座へ振り込みます。

【返金方法】

①	平成16年11月19日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成16年11月26日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※ テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しします。

※ 事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りします。

この講習会は、（社）全国土木施工管理技士会連合会で実施の「継続学習制度(CPDS)」に指定された講習会です。（CPDS 登録希望者及び受講認定を必要とする方には、会場で学習履歴登録手続きについてご案内します。）

講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい <http://www.zenken.com/>

第 494 回建設技術講習会（活力と魅力ある地域づくり）日程

— 活力と魅力ある地域づくりに向け、地域間の交流と連携、地域住民・NPO等の参画の充実、都市再生、魅力ある観光交流空間づくり等について、地域の関係者による報告や討議を通じ、街づくり、地域づくりの様々な施策のあり方を学ぶ。 —

会場 …… 金沢市文化ホール
〒920-0864 金沢市高岡町 15-1 TEL 076-223-1221

敬称略

1 日目 平成 16 年 11 月 30 日（火）			
10:10 }	あいさつ	石川県知事	谷 本 正 憲
10:30	〃	金沢市長	山 出 保
10:30 }	【基調講演】	金沢学院短期大学	
12:00	世界都市を目指す金沢戦略 ～事例：金沢駅東広場（ガラステーム）の考え方～	名誉学長 （北陸の地域づくり戦略会議委員）	小 堀 為 雄
13:00 }	〔体験報告 1〕	輪島市馬場崎商店会 専務理事	
14:00	都市ルネッサンス事業をきっかけに まちづくりに目ざめた商店街	（塩安漆器工房 謫庵 店主）	塩 安 愛 子
14:10 }	〔体験報告 2〕	金沢工業大学環境建築学部	
15:10	先進的な金沢のまちづくり	教授 （金沢まちづくり市民研究機構ディレクター）	水 野 一 郎
15:20 }	〔体験報告 3〕	NPO 法人「ネイチャープロジェクト白山」	
16:20	私の失敗 地域の成功 ～白山麓の元気づくり～	理事	南 修
16:20 }	【地域事業の紹介】	石川県土木部公園緑地課	
16:40	金沢城公園整備の概要	城庭整備専門員	藤 村 秀 人
17:00	H18 年春供用をめざし、地域高規格道路 ・金沢外環状道路山側幹線	石川県県央土木総合事務所 外環状道路建設課長	高 橋 裕 之
2 日目 12 月 1 日（水）			
9:50 }	〔体験報告 4〕	石川県津幡町長	
10:50	住みたくなる町づくり		村 隆 一
11:00 }	【特別講演】	和倉温泉（株）加賀屋	
12:00	能登空港開港に伴う温泉旅館の活性化維持 （仮題）	会長	小 田 禎 彦
13:00		【コーディネーター】	堀 喜代治
		北国新聞社 論説副主幹	
15:00	《パネルディスカッション》 活力と魅力ある地域づくり	【パネリスト】 体験報告者全員	塩 安 愛 子 水 野 一 郎 南 村 隆 一
15:00 }	閉会のあいさつ	石川県建設技術協会会長 〔石川県技監（土木担当）〕	宮 下 克 己
地域の独自調査			
【現場研修】 3 日目 12 月 2 日（木）			

中央公園横〔香林坊アトリオ・大和横〕（8:30）出発

→ 金沢城公園整備事業（下車見学） → 地域高規格道路・金沢外環状道路山側幹線（鈴見新庄線）整備事業（下車見学）

→ 昼食（金沢市内） → 小松駅付近連続立体交差事業・小松駅東西土地区画整理事業（下車見学）

説明後、J R 小松駅（14:30）解散 → 小松空港（14:45）着後解散／J R 金沢駅（16:00）着後解散

※ 上記行程は班分けにより視察順序が変わる場合があります。また道路混雑のため解散時刻が超過することがありますのでご了承ください。

※ 講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

CPDS 学習プログラム認定技術講習会

第494回建設技術講習会 現場研修事業の概要について

1 金沢城公園整備事業

…………… 金沢市丸の内地内

金沢城址周辺は、石川県民にとってかけがえのない歴史的
分化遺産であり、特別名勝「兼六園」と一体となった県都金
沢のシンボル空間です。金沢城公園は、この県民共有の財産
を早期に解放するとともに永く後世に伝えるため、また、都
心部の新たな活力を生み出すための都市公園として事業を進
めている。

整備方針としては、貴重な緑を保全しながら、江戸後期の
城郭の地割りを基に、史実を尊重して公園を整備します。ま
た、菱櫓など歴史的建造物の復元により、往事の城郭の雰囲
気が感じられ、歴史を偲べる公園として整備をすることとし
ている。



2 地域高規格道路・金沢環状道路山側幹線（鈴見新庄線）整備事業

…………… 金沢市田上本町～野田町地先

金沢の幹線道路の形態は、城下町特有の都心部から放射状
に延びる拡散型放射状道路網です。これに起因する都市内道
路における交通渋滞の問題は、最大懸案のひとつであり、そ
の解消のため、環状型幹線道路網の整備を推進しています。
これが完成することにより、都心部通過車両の分散を促し、
交通問題の解決に大きな前進をもたらします。

山側幹線は、都市計画道路今町鈴見線（金沢東部環状道路）
や都市計画道路鈴見新庄線などからなり、海側幹線と併せて
金沢都市圏の外環状道路を形成する重要な幹線道路です。

- ・金沢市の都心部において、通過交通が排除され交通渋滞の緩和が図れる。
- ・金沢市南部から都市部を通らずに北陸自動車道月浦I.C.にアクセスできる。
- ・津幡町方面から加賀産業開発道路に直結される。
- ・小立野台地で分断されていた犀川河岸や寺町台地区と浅野川河岸地区とが連結される。

など、金沢都市圏における交通環境が飛躍的に向上することが期待されている。



3 小松駅付近連続立体交差事業/小松駅東西土地区画整理事業

…………… 小松市八日町～日の出町地先

小松市は、JR北陸線により市街地が東西に分断され、均
衡ある都市の発展が阻害されています。これを解消するた
め小松駅付近を連続立体交差化し、機能的で安全な交通体
系を整備するとともに、併せて駅東・駅西土地区画整理事
業を進め、駅周辺の一体的な都市基盤整備を進めている。

当日は、こまつ芸術劇場にて説明ビデオを上映する。



第 494 回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿 泊 料 金：宿泊希望者には金沢市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。
 宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局宛にお申し込み下さい。
 宿 泊 予 約 金：宿泊予約金（1人1泊4,000円）は申込と同時に下記旅行会社に直接送金下さい。
 送 金 先：㈱日本旅行 東京法人営業部 Tel 03(3593)0321 Fax 03(3593)0688
 銀行口座 三井住友銀行日比谷支店 普通預金口座No.2994790
 〒105-0004 東京都港区新橋 2-16-1（ニュー新橋ビル 9F）
 お振込の際は、振込者の名義の前に開催回数「494」をつけ加えて下さい。
 問い合わせ先：㈱日本旅行 東京法人営業部 Tel 03(3593)0321「全建担当デスク」迄
 申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消し・返金について

平成 16 年 11 月 19 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の全額を返金
〃 11 月 26 日（金）までの取り消し	宿泊予約金の半額を返金
上記を過ぎてからの取り消し	返金は一切ありません

斡旋する宿舍名、宿泊料

平成 16 年 11 月 29 日（月）・30 日（火）・12 月 1 日（水）（1 泊朝食付、サービス料・消費税含む）

記号	宿舎名	電話番号・所在地	部屋タイプ	宿泊人数	全建宿泊代金
A	金沢エクセルホテル東急	金沢市香林坊 2-1-1 TEL:076-231-2411	シングル	70 名	9,800 円
	金沢ニューグランドホテル	金沢市高岡町 1-50 TEL：076-233-1311		50 名	9,500 円
	金沢ニューグランドホテルアネックス	金沢市高岡町 1-50 TEL：076-233-7000		30 名	9,500 円
B	金沢ワシントンホテルプラザ	金沢市片町 1-10-18 TEL:076-224-0111		90 名	8,500 円
	ホテルアクティ金沢	金沢市片町 1-2-44 TEL：076-233-3900		50 名	7,500 円
宿泊斡旋人数合計				290 名	

* 宿舎が決定次第、㈱日本旅行より「宿泊案内」が送付されます。
 また、朝食不要とすることもできます。詳細は、「宿泊案内」をご覧ください。

会場・宿舎案内図



協会名 _____ 印
(特別・賛助会員名)

第494回建設技術講習会（活力と魅力ある地域づくり）申込書

参 加 者		勤 務 先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別		昼食不要 (又印)	現 場 研 修	宿泊予約金		
(フリガナ) 氏 名 (参加者が女性の場合は番号に○囲みして下さい)	年 齢		正 会 員	非 会 員			予約日にA,Bを記入して下さい	11/29	11/30
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
聴講料 正会員・特別会員・賛助会員 名× 7,600円＝ 円 〃 (昼食不要) 名× 6,000円＝ 円 非 会 員 名×12,600円＝ 円 〃 (昼食不要) 名×11,000円＝ 円 現場研修料 名× 6,900円＝ 円		↑ 現場研修の 昼食は不要 の申し出は できません ※		宿泊予約金 泊×4,000円					
計						円	計 円		

↓全建に振込

↓日本旅行に振込

●お申込み後の変更、取り消し、追加に関してはお電話での受付はいたしません。本紙に変更、取り消し、追加箇所がわかるようにご記入いただき、再送と書いてFAXにてお送り下さい。なおこの場合、原本の郵送は不要です。(全建FAX 03-3586-6640)

(昼食について)

昼食時間が限られており、また、会場周辺には十分な昼食施設がありませんので、極力、用意の昼食をご利用下さい。

昼食が不要の場合、×印を記入して下さい。なお、当日会場においては、昼食の申し込みは受け付けできませんので、予めご了承下さい。

※現場研修の昼食について:

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできません。予めご了承下さい。